

集落を取り囲んで設置された、獣害防止柵



忍び返しの
現地での
成形



道の扉→

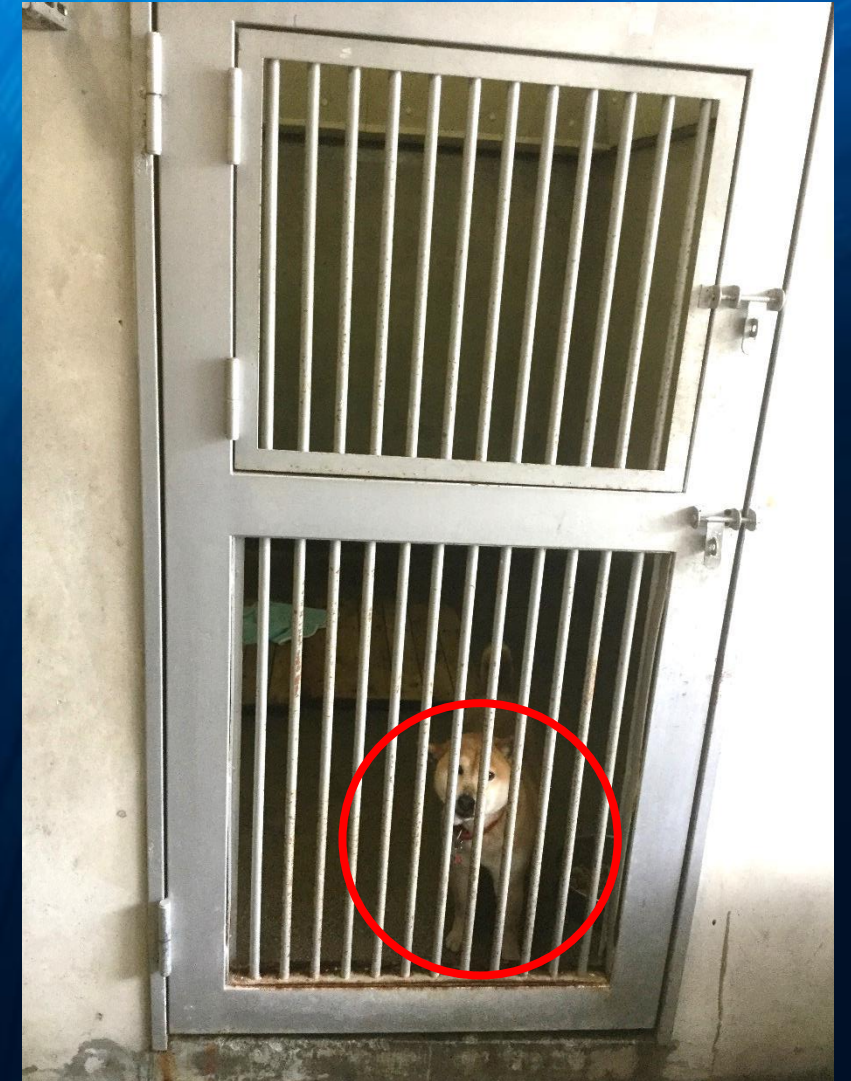
現在の動物愛護施設

収容檻

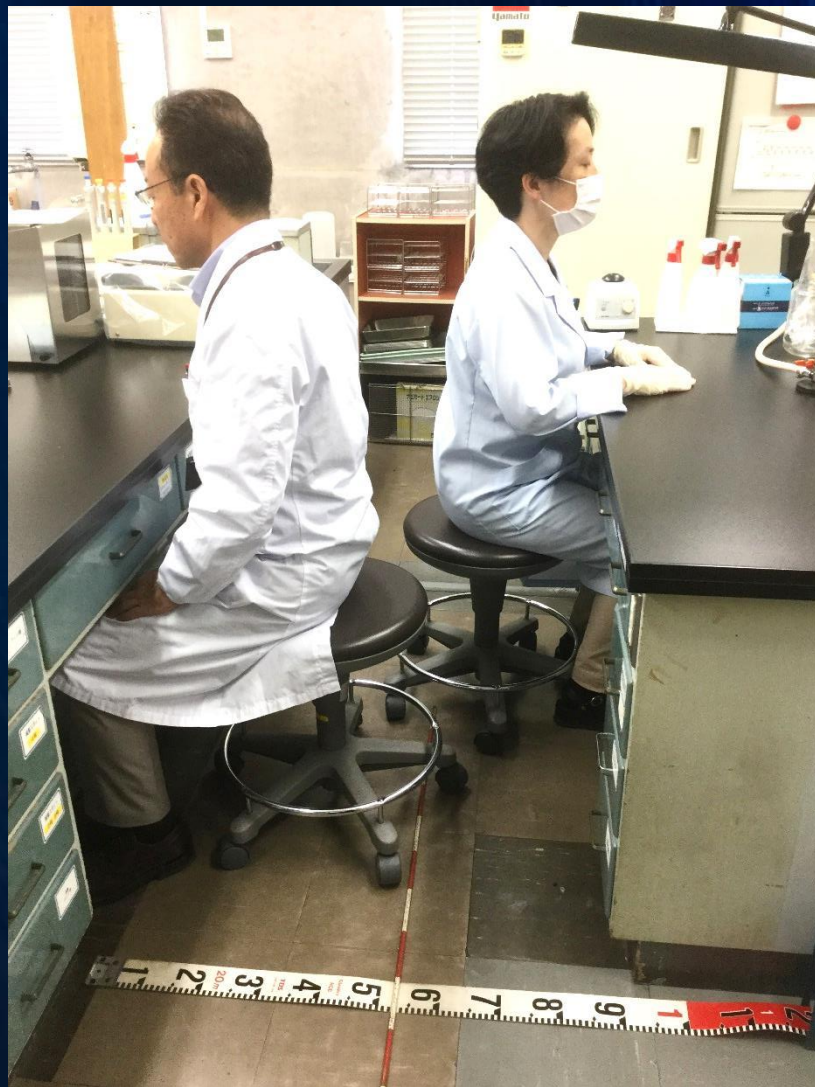


猫の額ほどの庭で
犬の散歩

扉を閉めると
光は電灯だけ



現在の食品検査施設



尻当たる狭さ



サビ・カビ・シミ



化学知識を持つ職員の活用

本市は、
化学知識を持つ
職員を、23名も
擁する。(本年度)



保健所政令市や
中核市に必要な
理化学検査は、
十分可能

岡崎、豊田、豊橋、岐阜、
尼崎、姫路等の中核市
では、取り組んでいる。

人事交流により、3部門の行政に、横串を差す

旧三重ソフトウェアセンター建物の活用



動物愛護施設



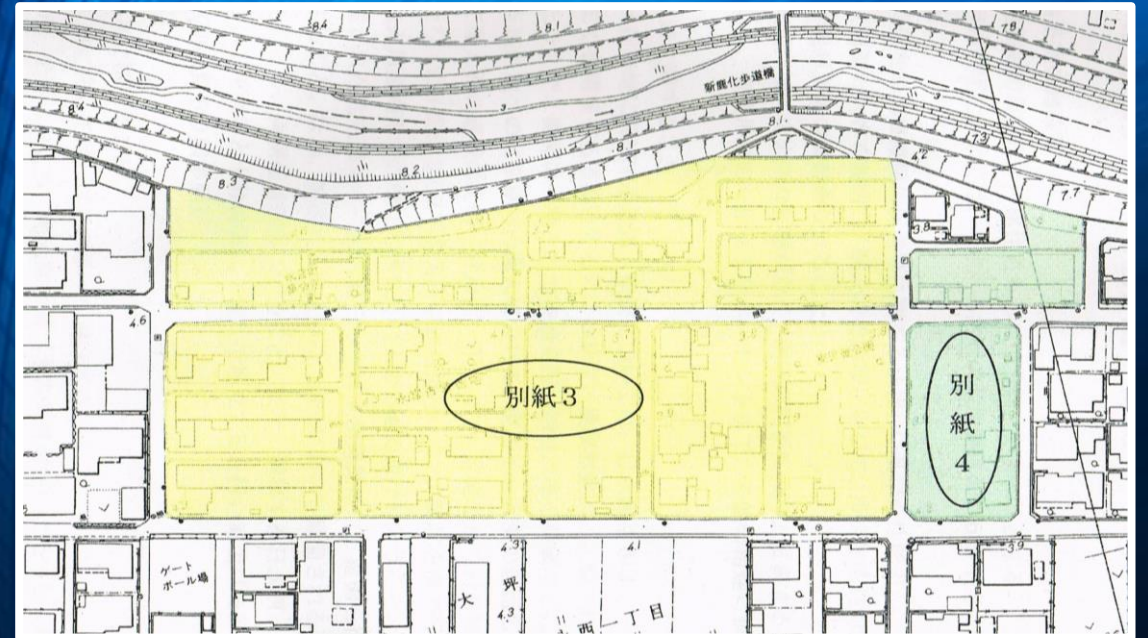
環境・衛生研究所



小鹿が丘市営住宅と、小鹿が丘の範囲



永宮市宮住宅跡の住宅開発の中で整備された集会所



市有地の 売却条件

当該用地には現在、永宮町集会所が存在している。開発において、現存する集会所を除却し、同程度の集会所（別棟建、敷地面積 200 m²程度、床面積 80 m²程度とする。）を新たに建設すること。また、工事中においても代わりとなる施設を当該用地内に確保するなどして、自治会活動に支障のないようにすること。

平成19年3月定例会での、塚田都市整備部長の答弁

「良好なまちづくりができるような条件で売却してまいりたいというふうに考えております。」

「集会所とか公園、これは売却しても確保していく必要があるという認識はしております。」

「防災上の観点からも、周辺住民の方々が緊急時に避難道路として利用でき、また緊急の車両がスムーズに通行できるように その敷地の外周道路の幅員、これは確保していきたいというふうに考えております。」

永宮市宮住宅と小鹿が丘市宮住宅に、なぜ差をつけるのか



永宮市宮住宅の跡地

民間開発の中で、新しい集会所を開発会社が整備



小鹿が丘市宮住宅

約60年前の集会所を、周辺住民が修理（市の提案）

都市計画道路永宮松本線の現状



通学路なのに、車がすれ違いできない狭さ

開発や区画整理に伴い、都市計画道路を先行整備した例



小杉新町

事業化されていない都市計画道路を、区画整理の際に、先行整備した。

小鹿が丘でも、市営住宅再開発の際に、都市計画道路の先行整備を。

(昭和62年撮影)